

9/16 (水) 玉村町と茨城町の保護司会・更生保護女性会 合同の研修会を開催

茨城町が友好交流都市協定を締結している群馬県玉村町より、保護司会と更生保護女性会が茨城町を訪れ、茨城町の同団体と研修会を開催しました。両町団体代表のあいさつの後、団体ごとに分科会を実施、それぞれの地域の課題を持ち寄り活発な意見交換をしました。

保護司会と更生保護女性会は、犯罪や非行をした人たちの更生保護を行う団体です。



8/28 (金) いつまでも若々しく！ 元気あっぷ教室

茨城町では、高齢者が要介護状態になるのを予防するため、包括支援センター、介護老人保健施設等と協力して、「元気あっぷ教室」を実施しています。参加者は毎週1回ゆうゆう館に集まり、健康食の料理教室や、リズムに合わせてステップを踏む、体と脳を刺激する体操などを行っています。

参加者の中で最高齢の飯塚そのさんは、この日99歳（数え年100歳）の誕生日。指導にあたる事業所の職員や参加者から花を贈られ、笑顔を見せてくれました。飯塚さんは、「皆さんから誕生日を祝ってもらって嬉しい。この教室に通ってからの体調もいい。」と教室の効果を感じているようでした。



9/18 (金) 茨城町戦没者追悼式



平成27年度茨城町戦没者追悼式が茨城町中央公民館大ホールで開催されました。

今年は戦後70年の節目にあたり、追悼式には遺族の方々や関係者約160名が参加。黙祷と献花で戦没者に哀悼の意を表し、平和への祈りを捧げました。

茨城町遺族連合会会長の丸山さんは「戦後70年が経過し、戦争の記憶が薄れていっている。過去の戦争の教訓を風化させることなく、次の世代に継承していくことが私たちに課せられた使命である。」と追悼の意を表し、恒久平和と不戦の誓いを新たにしました。

茨城町の戦没者を祭る「やすらぎの丘」には、1,000名を超える戦没者の名前が刻まれています。

8/29 (土) 8/30 (日) 大戸サッカースポーツ少年団 30周年記念大会



今年創立30周年を迎えた大戸サッカースポーツ少年団は、8月29日、30日の両日、那珂川河川敷グラウンド（ひたちなか市）で記念大会を開催しました。大会には県内のサッカー少年団16チームが参加し、熱戦を繰り広げました。

大会終了後には水戸ホーリーホックによるサッカー教室が開催され、子どもたちは水戸ホーリーホックの馬場選手や田向選手などから実演を取り入れた指導を受けました。プロ選手直々の指導に子どもたちは感激した様子で、いい夏休みの思い出をつくることができました。

9/1 (火) 茨城町はメロンの産地！ 茨城県青果物銘柄産地に指定

茨城町産メロンの茨城県青果物銘柄産地指定が更新され、指定証交付式が県央農林事務所で行われました。銘柄産地制度は、特に品質が優れた青果物を生産する産地を指定する制度です。茨城町のメロンは昭和62年に初めて銘柄産地に指定され、今回で7回目の更新となります。

銘柄産地指定を受けJ A水戸茨城町メロン部会の石川会長は、「メロン部会では活発に研究を重ね、会員一丸となって高品質なメロンを生産していきます。」と決意を新たにしました。



第37回茨城町総合体育大会

茨城町中央公民館大ホールにおいて茨城町民祭剣道大会が開催され、幼稚園児から中学生までの剣士たちが日ごろの練習の成果を披露し、熱戦を繰り広げました。

各部門の優勝者を紹介します。

| | | | |
|-----------|---------|-----------|---------|
| 幼稚園の部 | 山中 花凜さん | 小学1・2年生の部 | 道川 恭徳さん |
| 小学3・4年生の部 | 橋本 颯さん | 小学5・6年生の部 | 方波見海斗さん |
| 中学生女子の部 | 矢萩 優希さん | 中学生男子の部 | 磯崎 紘希さん |

また、ターゲットバードゴルフ連盟では、10月4日に第15回目となるターゲットバードゴルフ選手権大会を開催しました。ターゲットバードゴルフは、羽がついたボールをゴルフクラブで打ち、籠に入れる回数を競う競技で、子どもから高齢者まで手軽に楽しめるスポーツです。

各部門の優勝者を紹介します。

| | | | |
|------|---------|------|----------|
| 男子の部 | 加藤 清久さん | 女子の部 | 加藤 斗志井さん |
|------|---------|------|----------|

9/15 (火) 地域の高齢者から学ぶ伝統の技 石崎小学校で「ゆっつら」作り



石崎小学校の5、6年生が、榎原高齢者クラブの皆さんより、稲を束ねる藁「ゆっつら」作りを学びました。

児童たちは高齢者クラブの皆さんに教えてもらいながら、藁を束ねて「ゆっつら」を作成しました。

榎原高齢者クラブ代表の海老澤さんは、「石崎小学校が今年で廃校になるのは寂しいが、今後も子どもたちに教えられることがあれば協力していきたい。」と話してくれました。

今回作成した「ゆっつら」は、児童たちが育てている稲の刈り取りに使用するとのことです。